

## 櫛引宝谷地区「地域おこし協力隊」を募集 都市から移住し、住民とともに取り組む 定住に起業補助金や活動サポート

都市部から過疎地へ一定期間移住し、住民とともに地域づくりに取り組むパートナーとして「地域おこし協力隊」が注目されています。

2009（平成21）年度に総務省が創設した制度で、鶴岡市では平成25年度から配置してきました。

具体的には、都市部の若者が、概ね1年以上3年以下、地域内で生活しながら、地域づくり活動に従事するもので、平成25年度から3年間、朝日・大鳥地区に2人配置し、27年度から3年間、温海・福栄地区に3人配置しました（今年1月1日には、古館由隆さん（44）を再配置）。

雇用形態は鶴岡市の非常勤特別職とし、報酬は月額16万6600円、活動年次に応じ、2年目は同17万7400円、3年目は同18万4200円で、賞与や時間外手当、退職手当はありません。

鶴岡市では、任期終了から1年以内に市内で起業する場合、補助金（上限100万円／1回限り）を支給する制度を創設し、任期後の活動もサポートし、大鳥地区では2人が定住に結びついています。

全国的には「地域おこし協力隊」の参加者は平成29年度に5千人規模となり、前年度から約2割増加しています。

### 宝谷そばの向上

平成30年度は新たに櫛引・宝谷地区の「地域おこし協力隊」を2人配置する計画で、現在3月23日まで募集しています。

山形県内では29年度は108人で、2年前の95人に対し約1・5倍に増加し、27、28年度の2年間で15人が定住しています。

宝谷地区では農業体験学習施設「ふるさとむら宝谷」を活動拠点

平成27年に実施の最上町議選では協力隊経験者が当選しています。総務省の調査では、任期を終えた「元隊員」の6割が、赴任した地域に定住している調査結果を公表しています（平成29年9月22日）。



意欲と情熱のある  
パートナーを求む。

「宝谷地域おこし協力隊」隊員募集!



募集期間：平成30年2月23日（金）～3月23日（金）必着



〒997-8601  
山形県鶴岡市馬場町9-25  
鶴岡市企画部地域振興課  
TEL：0235-25-2111 FAX：0235-25-2990  
E-mail：chiikishinko@city.tsuruoka.yamagata.jp

鶴岡市は平成30年度、新たに櫛引・宝谷地区の「地域おこし協力隊」2人を募集

## 長沼温泉「ぽっぽの湯」奮闘記

板垣久喜（長沼上新田）

電話番号ヨイフロ

②

オープンに向けて  
と電話番号

平成11年3月末でJ A庄内たがわを早期退職し、7月から町役場2階企画課内に机一つ置いて、準備室勤務となった。

しかし、私自身の屋敷の片付けなどで忙しく、何も分からず不安の毎日。ちょうどその頃、駅前のK社長から「今ならヒマだろうから北海道ドライブどうだ」と誘ってくれ、6月19日から8日間、フエリー2泊、宿2泊の他はキャンプ場巡りで自由気ままな4人旅となった。

走り距離2641km。すっかり気分転換できた。最初に思いつき手掛けたのが電話帳調べ。藤島に4126があるか調べた。幸い無かったので企画課長にお願ひし、4126（ヨイフロ）の電話番号をとってもらった。これが初仕事であったように思う。

### 社員採用

平成11年11月に会社の社員採用試験を実施した。

まだ実績もない会社に果たして、という心配もあったが、幸いにも倍以上の応募があった。

しかも優秀な人ばかりで、人選に困る状態の中、一次採用13名、平均年齢30歳（私51歳を入れても）と若かった。

### 工程会議への出席

平成11年7月26日に正式採用されて、毎週の工程会議に出席することになった。

設計者や施工業者との打合せは、最初はちんぷんかんぷんで何も当を得ない状態が続く。何ヶ月か過ぎる頃に

ようやくのみ込めて、素人なりに希望を申し上げたが叶わないことが多いこと、当然のことと思いついた。ここでは与えられた施設で、やれるだけやるしかないということ、第3セクター「ふじの里振興株式会社」として赤字を出さないようにするしかないこと、少し気持ちがゆつくりした感じであった。

天動説と地動説

昭和12年〜20年、支那事変勃発から太平洋戦争敗戦まで、戦に明け暮れた8年間だった。私は数え年7歳〜14歳。戦中は中国人に対しては「チャンコロ」の蔑称。昭和16年から対戦相手となったアメリカやイギリスへは鬼畜米英とあらゆる罵りの悪口雑言を投げつけた。

やがて昭和20年8月15日の敗戦。一夜にして日本国民総懺悔が始まった。

でも日本人として心底から懺悔したのは、秋田県横手市出身の「むのたけじ」（大正4（1915）年1月2日〜平成28（2016）年8月21日）一人だけだったのではないかと。



むのは敗戦の日、記者として勤務していた朝日新聞を退社した。戦時中での日本の戦争協力記事を書きまくった活動を心底反省したのである。むのは妻子4人を連れて横手市に帰郷し、週刊新聞「たいまつ」を創刊し、反戦の言論活動を101歳で没するまで続けた。

私は、進駐軍の命令で剣道の道具を無理矢理学校に没収された。同時に、使用していた教科書の中で、戦争

礼賛や敵国侮辱の文章はすべて墨で塗りつぶした。担任の先生の命令である。

昨日まで正しい価値と認められていたものが、ほとんど邪悪とされ、邪とされていたのが一晩明けて正義と化する。

ただ、あれから70余年、この国はまともに進んではいけないのではないかと考えるときがある。

戦後間もなくの山口判事の餓死事件は、ヤミ米購入を職業柄拒否してとうとう餓死した。多くの日本人はヤミ米を売買して何とか命を繋いでいた。

戦後私は所用があった藤島〜東京間を列車で何度か往復したが、東京の宿屋に泊まるときは手土産のヤミ米をそつと隠し持っていた。



ヤミ米摘発の警察官が4、5人どやどやと列車内に踏み込んでくる場面に何度か遭遇したが、没収されたことは一度もなかった。幸運だった。

ヤミ米は違法とは言え命の糧であり、人々の命の方が大切だ。

大昔、天動説と地動説の論争があったが、戦争が正しかった時代から平和の時代へ、人を殺すことより生かすことへ、価値観は転換したはずだった。

今、日本は安倍によって平和憲法を変えられようとしている。今度平和より戦争を求める時代になるのか。

「働き方改革」一括法案を考える④ 国会論戦、嘘データ次々と

―あらためて憲法を学ぶ 青山崇

首相答弁が発端で国会論戦が活発で、6野党共闘の前進がよい。

「裁量労働制で働く方の労働時間の長さは、平均的な方で比べれば一般労働者よりも短い」というデータもある」と、厚労省調査（裁量労働制の労働時間は9時間16分、平均的な方で比べれば一般労働は9時間37分）を鵜呑みにした1月29日の答弁である。

ところが、一般労働

例を上げると、1日の残業が「45時間」とあるのに、1カ月で「13時間24分」と1日の残業が1カ月より長いケースが19件、1日の最長残業が1週間より長いケースが24件などと続出している。

日本共産党志位委員長は、問題の根本は、法案のもととなった2015年2月の労働政策審議会に、まともなデータを一切示さず、ねつ造データだけ出していたこと。さらに安倍首相は「厚労省から



税金申告しようよ

税金の申告時期になった。恒例とはいえない一回のこれは、厄介だとか頭が痛いとか聞く。だから、我が老人クラブは事業として申告の勉強会をしている。

▲何年か続けてきたので必要な物は揃うようになった。何よりみんながワイワイ言いながらの作業で、終わったら一杯あるのが老人クラブ的でいい。

▲今年も、税金の返る人・出す人・国税に関係ないけど、申告することでも市県民税が小さくなる人と様々だったが、国が言うところの「年金が400万円以下でウソマンの人は申告しなくても良い」のウソマンのない人は、信用してはいけない。

▲なぜなら、公的年金等の源泉徴収票（これだけ貴方に年金をくれましたとの金額が記載

上がってくる答弁を紹介した「すべて詳細を把握しているわけではない」などと他人ごとのように言い逃れをしている。このような首相の態度・責任も重大であり提出を断念すべきである」と表明した。



されたハガキ大の物)には、くれた方で分かるものしか書いてないからです。

▲つまり、国民健康保険税・生命保険・地震保険・医療費などは、申告しないと差し引かれないのだ。5年とかに一回やる家もあるでしょうが、シロアリ駆除は、雑損控除です。

▲国にすれば、申告がなければ税金を返す必要が無いばかりか、管理する書類が少なくなるという・いいことばかりなのだ。だからウソマンのある人は、計算してみても国税が出る場合は、申告しなければいいだけのこと。

▲国は、管理する物を減らすために、医療費は袋で計算し袋に入れていたんだが、今年から袋がなくなっただけ。俺たちは、不要の袋に入れて出すことにした。でないと領収書は5年間保存の要ありですから。(石川)